

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年12月6日】第106号



保護者会

12月1日(月)から3日(金)の各日、学年別の保護者会がオンラインで行われました。全体会では校長から保護者に向けて、本校の教育や運営に対する協力の御礼、入学試験が無事に終了したことほか本校の近況、学年ごとの児童の様子、児童の一層の成長のために保護者に今、お願いしたいことなどについて講話をいたしました。特に3年生の保護者には、中学校への進学に向けて、学力だけでなく、生活態度や学習に向かう姿勢がきちんと身に付いていることの必要性について、ご説明しました。加えて、すべての保護者に、教育振興基金(寄付金)へのご協力もお願いいたしました。その後は続けて、学級別に担任と保護者との懇談会(オンライン)となりました。

なお、今回の保護者会では新しい試みとして、児童の給食や休み時間の様子を配信しました。給食当番がきちんと配膳する様子や黙食に努める様子などもご覧いただけたかと思います。今後は、配信のカメラや音声にも工夫をして、よりわかりやすく児童の様子をお届けしていきたいところです。

保護者の皆様に小学校にお出かけいただく機会は多くありませんが、今後も、お気づきのことがあればご遠慮なくご連絡、ご相談いただき、それぞれの児童が楽しく、充実した学校生活が過ごせるようにしたいと願っています。

【東京農業大学稲花小学校教育振興資金】 <https://bokin.nodai.ac.jp/toka>

百人一首

11月30日(火)、3年生は稲花タイムで百人一首の学習(第2回目)を行いました。百人一首のうちの20首について札を取り合う試合も行われました。声を出したら負け、という厳しいルールでしたが、多くの子どもたちが百人一首をよく覚えてきたことには感心するばかりです。1年生、2年生でいろはかるたを学んできましたが、3年生以上は百人一首に親しみ、言葉のリズムや意味も楽しめるようになってほしいと願っています。いつの日にか、中等部や高等学校の生徒さんたちと試合ができるといいですね。なお、東京農業大学第一高等学校では「現代学生百人一首」に毎年、全校生徒応募を続け、入選者が出ることもあるそうです。また、本年11月23日(火)には、第28回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会において東京農業大学第二高等学校競技かるた部のメンバーがチームメンバーとして参加し、優勝しました。さらに、東京農業大学第三高等学校にも、百人一首部があります。

併設校の百人一首 ご紹介

東京農業大学第一高等学校・中等部 現代学生百人一首入選

<https://www.nodai-1-h.ed.jp/?p=2554>

東京農業大学第二高等学校 〔群馬県チーム優勝〕関東高校小倉百人一首かるた大会

<https://www.nodai-2-h.ed.jp/news/14404/>

東京農業大学第三高等学校・附属中学校 百人一首部

https://www.nodai-3-h.ed.jp/application/files/5315/2240/3657/guidebook_js.pdf

ゲストティーチャーに感謝

12月2日(木)、2年生は先週に続き、1クラスは東京農業大学名誉教授で俳人の中川純一先生による俳句の学習、もう1クラスは東京農業大学森林総合科学科教授の大林宏也先生による木材加工の学習を行いました。

俳句の授業では、子どもたち全員が俳句を作り、それぞれの俳句の好きなところを話し合いました。中には、テレビ番組やゲームのキャラクターの名前が出てくる俳句もあり、2年生らしい楽しさがありました。短冊1枚では足りず、もう一句できたということで短冊の2枚目に取り組む子供もいました。今年初めて2年生、3年生の俳句の授業を担当された中川先生ですが、全員の俳句に講評をしてくださっただけでなく、子どもたちが俳句を書いたそれぞれの短冊に印を捺して返却してくださっています。

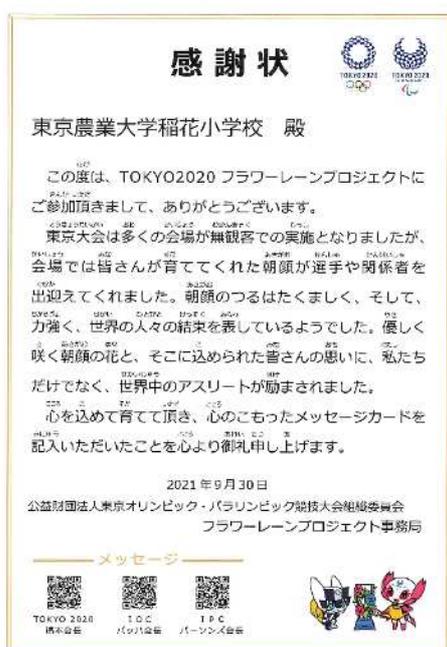
大林先生は、森林資源の有効利用に貢献するために、木材の特性解明、加工技術の向上や開発、木材を原料とする木質材料の開発や製造・加工技術の向上について研究されています。本校が開校した初年度から毎年、子どもたちに木工の授業をしてくださっていますが、この日は、ツキ板を使った工作を指導していただきました。ツキ板とは、天然木を薄くスライスしてシート状にしたもので、これを加工して家の内装や家具など使われるのだそうです。子どもたちは、メープル、スギ、ヒノキ、サペリなど6種類のツキ板を先生からいただいて、まず、それぞれの色や香りを楽しみました。そして、はさみや接着材を使って思い思いの模様を組み立て、しおりなどを作りました。

本校では、東京農業大学、東京情報大学、東京農業大学の連携企業や関連団体などからのゲストティーチャーのご指導あるいは教材のご提供による体験学習を多く行っています。お忙しい中、子どもたちのために授業に来てくださるたくさんのゲストティーチャーの皆様に改めて感謝します。

感謝状をいただきました

12月3日(金)、本校におけるフラワーレーンプロジェクトへの取り組みに対する感謝状を、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会よりいただきました。また、パラリンピック会場を飾るアサガオを栽培し、世話をした2年生一人一人に感謝状とストラップも届けられました。

11月まで管理したアサガオですが、生活科の授業で枯れたアサガオや鉢の片付けまでを2年生が行いました。パラリンピック会場から戻ってきたアサガオに実った種は、2年生の子どもたちが自由に採取し、記念に持ち帰りました。来年も花を咲かせられるとよいですね。



イルミネーション

12月になり、日もすっかり短くなりました。農大稲花小に隣接する東京農業大学第一高等学校・中等部では、今年も夕方になると、同校の教育後援会と同窓会からのプレゼントとしてのイルミネーションが点灯しています。勉強や課外活動を終えて下校する中高生を見守るイルミネーションとのことですが、アフタースクールから帰る本校の児童の眼にもうれしく、優しいものです。2月中旬まで点灯される予定です。機会があれば、どうぞご覧ください。



校長 夏秋 啓子